

砂防だより



御殿場からの富士山(御殿場市)

- 新年度の御挨拶..... 2
- 令和4年度の行事予定 3
- ・がけ崩れ防災週間 ・土砂災害防止月間
- 令和4年度砂防関係当初予算** 4
- 令和4年度国の新規制度・事業 6
- 土砂災害防止法によるソフト対策の取組 7
- あなたのまちの安全度** 8
- 逢初川直轄砂防災関係連緊急事業の進捗について 10
- 上田町地区特定利用斜面保全事業の完成について
- 「土砂災害防止に関する絵画・作文」優秀作品の表彰** 11
- インフォメーション 14
- わがまち(静岡市) 15
- 歴史探訪 県内初の集水井工
- お知らせ 16

速報 令和4年度 砂防関係当初予算

特集 あなたのまちの安全度

「土砂災害防止に関する絵画・作文」
優秀作品の表彰



新年度の御挨拶

陽春の候、会員の皆様には、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年、全国で967件の土砂災害が発生し、残念ながら死者・行方不明者33名、人家被害291戸など大きな被害となりました。中でも7月から8月にかけて、九州地方を中心とした7県に大雨特別警報が発表されるなど、記録的な大雨となり、この時期に発生した土砂災害が、年間発生件数の約8割を占めたとのことでした。

本県におきましては、7月豪雨を中心に37件の土砂災害が発生し、その中で熱海市伊豆山の逢初川で発生した土石流では、記録的な豪雨に加え、源頭部に施工されていた盛土の崩落が被害を激甚化させ、27名の犠牲者と未だ行方不明者1名の捜索が続く、近年最大クラスの土石流災害となりました。

この土石流については、国直轄施工として砂防災害関連緊急事業により、緊急的な砂防工事を進めており、また、8月にはがけ崩れが発生した静岡市の1箇所では、災害関連緊急傾斜地崩壊対策事業により、土砂災害対策施設の整備を緊急に実施しているところです。

県では、頻発する土砂災害から県民の生命と財産を守るため、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」などを活用し、ハード対策とソフト対策の両面から総合的な土砂災害対策を集中的に推進しています。

加えて、要配慮者や過去に土砂災害を受けた地区及びライフライン施設等を土砂災害から守るため、「緊急治水対策事業」等により、緊急的に土砂災害防止施設を整備し、防災機能の向上を推進してまいります。

早めの避難につながるソフト対策については、新たな測量技術を活用し土砂災害警戒区域の指定要件を満たす箇所の洗い出しを行い、基礎調査を実施してまいります。また、土砂災害警戒情報の発表精度の向上や補足情報システムの改善に取り組むとともに、看板等による警戒区域の現地表示、ハザードマップ作成や防災訓練の実施などによる市町の警戒避難体制整備への支援や、土砂災害防止講習会や出前講座などによる防災知識の普及・啓発に取り組んでまいります。

いずれの施策につきましても、会員の皆様との協調、連携により初めて成果をなすものであります。今後とも、会員の皆様方には、より一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

令和4年4月1日

全国治水砂防協会静岡県支部 幹事

杉本 敏彦

静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課

TEL 054-221-3044
FAX 054-221-3564

参事兼砂防課長

杉本 敏彦

☎3382

課長代理

西川 茂

☎3382

- ・課長の代理
- ・砂防協会、砂防ボランティア事務

砂防班

副班長 久木田 真次 ・県単砂防事業 ・災関緊急砂防事業 ・土砂・洪水氾濫対策 ・伊豆東部火山群の火山噴火対策	マイク口 342	班 長 三谷 真史 ・砂防班の総括 ・直轄砂防事業の調整 ・富士山の火山噴火対策
主任 井出 隼吾 ・補助・交付金砂防事業 ・砂防技術基準	☎3041	主 査 小沼 佳記 ・警戒避難体制整備の促進 ・砂防指定地内行為許可申請の技術審査 ・演習場周辺地区障害防止事業
技 師 小林 知樹 ・情報基盤整備事業 ・土砂災害防止の広報・啓発 ・砂防指定地の指定	土砂災害 110番 ☎3044	技 師 木ノ内 楨 ・土砂災害防止法に関する ・基礎調査 ・土砂災害警戒区域等の 指定・解除

傾斜地保全班

班 長 大野 正敏 ・傾斜地保全班の総括 ・直轄地すべり事業の調整	マイク口 341	主 査 田村 文孝 ・地すべり事業(林野) ・災関緊急地すべり事業(林野) ・県単急傾斜地事業(新設)
主 査 平野 秀直 ・補助・交付金急傾斜地事業 ・災関緊急急傾斜地事業 ・急傾斜地崩壊対策の技術基準	☎3043	主任 山本 仁 ・地すべり事業(農地) ・災関緊急地すべり事業(農地) ・県単急傾斜地事業(維持) ・急傾斜地崩壊危険区域の指定
技 師 花木 智洋 ・土砂災害警戒情報 ・地すべり事業(国交) ・災関緊急地すべり事業(国交)	土砂災害 110番 ☎3042	砂防協会 小杉 祐子 ・砂防協会の事務・経理

※指定地管理及び砂利・碎石関係事務等は、「河川砂防管理課」で担当します。

河川砂防管理課 ☎3028 (課長) 鍋田 航平

河川砂防管理班 ☎3034 (班長) 榎原 宏 (主事) 出 志帆 (主事) 曾根 剣一郎

※水防に関すること、交通基盤部内の防災対策の総合調整及び災害復旧事業の総括に関するについては、同室内にある「土木防災課」で担当します。

土木防災課 ☎3033

【令和4年度の行事予定】

月 日	時刻	会 場	会場等
4月 20日(水)	12:30	全国治水砂防協会静岡県支部会計監査	中島屋グランドホテル(静岡市)
5月 17日(火)	14:00	全国治水砂防協会静岡県支部役員会	中島屋グランドホテル(静岡市)
// 17日(火)	15:00	全国治水砂防協会静岡県支部令和4年度(第77回)通常総会	中島屋グランドホテル(静岡市)
// 26日(木)	11:00	(一社)全国治水砂防協会令和4年度(第86回)通常総会	砂防会館(東京都)
6月 1日(水)~ 7日(火)		がけ崩れ防災週間	静岡県内各地
// 1日(水)~30日(木)		土砂災害防止月間	静岡県内各地
// 1日(水)		「土砂災害防止月間」キャンペーン出陣式	バス営業所
// 2日(木)		「土砂災害防止月間」街頭キャンペーン	JR静岡駅
// 5日(日)		土砂災害・全国防災訓練	静岡県内各地
// 10日(金)		市町等砂防担当職員研修(防災演習)	静岡県庁
// 中 旬		みんなで防ごう土砂災害(砂防フェスティバル)	青葉シンボルロード(静岡市)
8月25日(木)~27日(土)		市町長等砂防関係事業県外視察	熊本県内(予定)
10月 下 旬	11:10	東海地区砂防協会支部長・砂防課長合同会議	岐阜県内
11月 上 旬		市町等砂防担当職員研修(現場研修)	静岡県内
// 15日(火)		全国治水砂防促進大会	砂防会館(東京都)
2月 中 旬		第62回砂防および地すべり防止講習会	砂防会館(東京都)

※太字の行事について、会員の積極的なご参加をお願い申し上げます。

がけ崩れ防災週間 土砂災害防止月間

6月1日(水)~ 7日(火)

6月1日(水)~30日(木)

土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害は、台風や集中豪雨などが原因となって発生します。梅雨時は雨が多く土砂災害が発生しやすい時期です。近年は頻発化・激甚化する豪雨等による被害が増えていますので、雨が降りだしたら防災・気象情報などに注意しましょう。

毎年、梅雨入りを迎える6月を土砂災害防止月間として、県民のみなさまに土砂災害防止について理解と関心を深めていただくため、国、県、市町などの関係機関が連携し、急傾斜地パトロールや防災訓練、講習会などを実施しています。

行事予定

- 6月1~30日 急傾斜地パトロール(重点実施)
- 6月 1日(水) 「土砂災害防止月間」キャンペーン出陣式
- 6月 2日(木) 「土砂災害防止月間」街頭キャンペーン
- 6月 5日(日) 土砂災害・全国防災訓練
- 6月中旬 みんなで防ごう土砂災害(砂防フェスティバル)の開催(青葉シンボルロード)
- 6月1日~ 9月15日 「土砂災害防止に関する絵画・作文」の作品募集



令和3年度 街頭キャンペーンの様子

令和4年度 砂防関係当初予算 113億9,445万円余

令和4年度当初予算が令和4年2月県議会定例会において可決され、静岡県一般会計の歳出総額は1兆3,644億円で、前年度に比べ550億円の増、対前年度比104.2%でした。

砂防関係事業の予算は、予算総額約113億9,445万円、前年度より8,300万円の減、対前年度比99.3%となりました。主な内訳は次のとおりです。

1 一般公共事業 53億8,700万円

国の補助や交付金を活用し、砂防堰堤等の防止施設の整備とともに、土砂災害警戒区域の指定完了を踏まえ、危険箇所の周知や市町の警戒避難体制の整備を促進するソフト対策に取り組みます。

なお、令和4年度より2か年で、「都市空間情報デジタル基盤構築支援事業」等により、砂防管理DX事業を実施します。令和3年度に砂防課が取得した3次元点群データを活用し、堰堤堆砂敷の堆積土砂量の把握や災害時の崩壊土砂量の迅速な算出など、3D都市モデルを活用した災害リスクの可視化に取り組みます。

2 県単独事業 34億6,500万円

国庫補助事業や交付金事業に採択されない箇所の防止施設の整備や調査等を実施します。

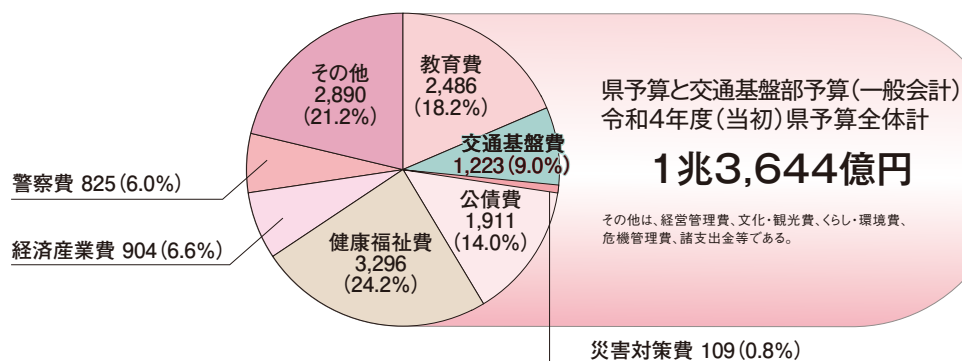
3 国直轄事業費負担金 25億4,000万円

富士山、安倍川、狩野川において国土交通省が行う直轄砂防事業及び由比地区直轄地すべり対策事業に対する県負担金です。

静岡県の砂防関係予算

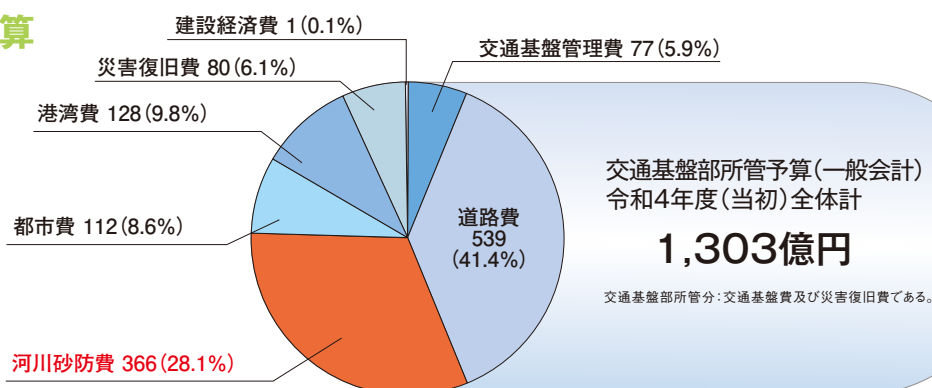
● 県予算と交通基盤部予算

令和4年度当初



● 交通基盤部所管予算

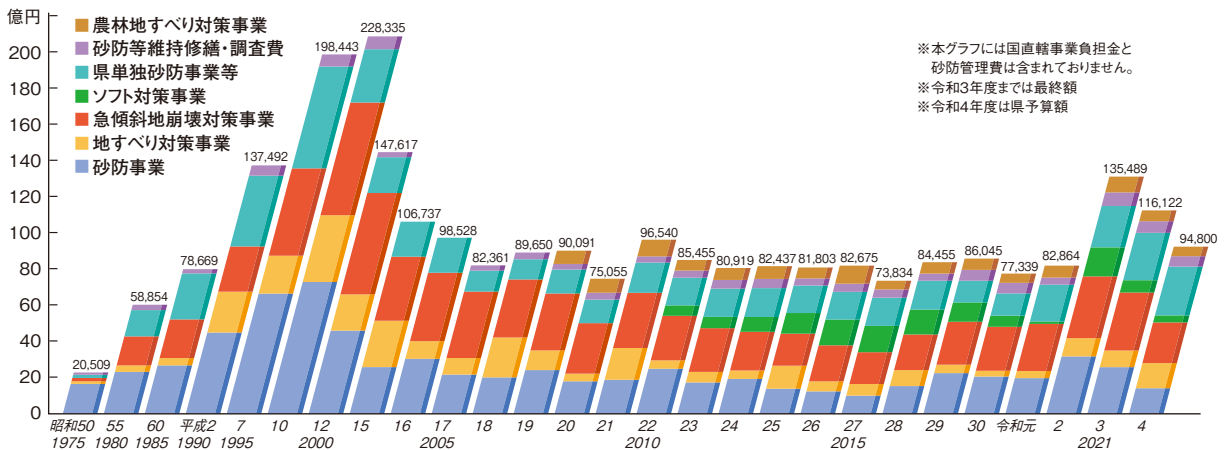
令和4年度当初



令和4年度砂防関係事業等予算額調書

事業名	令和4年度	令和3年度		A/B	A/C
	当初 A	当初 B	最終 C		
★砂防管理費 (第1目) 計	2,453	2,453	97,422	100.0	2.5
河川改良費 (第2目) 計					
国庫補助					
通常砂防事業	407,151	289,501	617,650	140.6	65.9
火山砂防事業	31,500	42,000	99,750	75.0	31.6
砂防事業 計	438,651	331,501	717,400	132.3	61.1
地すべり対策	294,000	278,250	331,800	105.7	88.6
急傾斜地崩壊対策	217,349	194,249	406,244	111.9	53.5
通常国庫補助事業 計	950,000	804,000	1,455,444	118.2	65.3
通常砂防事業	312,014	589,562	770,970	52.9	40.5
火山砂防事業	150,150	129,150	291,900	116.3	51.4
火山噴火緊急減災対策	2,100	21,000	2,100	10.0	100.0
砂防事業 計	464,264	739,712	1,064,970	62.8	43.6
地すべり対策	30,450	11,550	79,800	263.6	38.2
地すべり対策事業 計	30,450	11,550	79,800	263.6	38.2
急傾斜地崩壊対策	1,500,869	1,549,586	2,356,556	96.9	63.7
急傾斜地崩壊対策事業 計	1,500,869	1,549,586	2,356,556	96.9	63.7
緊急改築(砂防)	301,350	95,602	794,430	315.2	37.9
緊急改築(地すべり)	63,000	38,850	178,500	162.2	35.3
緊急改築(急傾斜)					
情報基盤緊急整備	131,567	52,500	614,567	250.6	21.4
基礎調査	31,500	315,000	274,050	10.0	11.5
総合流域防災事業 計	527,417	501,952	1,861,547	105.1	28.3
効果促進事業(ソフト)	1,000	200	2,000	500.0	50.0
防災・安全交付金 計	2,524,000	2,803,000	5,364,873	90.0	47.0
東富士演習場周辺地区障害防止対策事業	48,000	48,000	45,100	100.0	106.4
特定緊急砂防					
特定緊急地すべり対策	199,500	420,000	400,095	47.5	49.9
災害関連緊急砂防	362,000	362,000	0	100.0	皆増
災害関連緊急地すべり対策	1,080,500	860,000	0	125.6	皆増
災害関連緊急急傾斜地崩壊対策	173,000	173,000	118,068	100.0	146.5
災害関連緊急事業 計	1,815,000	1,815,000	518,163	100.0	350.3
砂防管理DX推進事業費	50,000			皆増	皆増
一般公共事業 計	5,387,000	5,470,000	7,383,580	98.5	73.0
通常砂防	220,000	220,000	220,000	100.0	100.0
地すべり対策	20,000	20,000	20,000	100.0	100.0
急傾斜地崩壊対策	246,000	246,000	246,000	100.0	100.0
砂防等維持修繕	495,000	495,000	495,000	100.0	100.0
砂防等調査	273,000	273,000	273,000	100.0	100.0
砂防等台帳整備	11,000	11,000	11,000	100.0	100.0
生活環境整備事業 計	1,265,000	1,265,000	1,265,000	100.0	100.0
施設整備	100,000	100,000	100,000	100.0	100.0
指定促進対策	20,000	20,000	20,000	100.0	100.0
急傾斜地崩壊対策事業費補助	120,000	120,000	120,000	100.0	100.0
砂防県単事業 計	1,385,000	1,385,000	1,385,000	100.0	100.0
砂防	412,000	412,000	412,000	100.0	100.0
急傾斜地崩壊対策	268,000	268,000	268,000	100.0	100.0
緊急自然災害防止対策事業	680,000	680,000	680,000	100.0	100.0
砂防	572,000	550,000	550,000	104.0	104.0
地すべり	79,000	27,000	27,000	292.6	292.6
急傾斜地崩壊対策	249,000	323,000	323,000	77.1	77.1
緊急治水対策事業	900,000	900,000	900,000	100.0	100.0
砂防	500,000	500,000	500,000	100.0	100.0
県土強靱化対策事業	500,000	500,000	500,000	100.0	100.0
砂防	1,704,000	1,682,000	1,682,000	101.3	101.3
地すべり対策	99,000	47,000	47,000	210.6	210.6
急傾斜地崩壊対策	883,000	957,000	957,000	92.3	92.3
その他(維持修繕・調査)	779,000	779,000	779,000	100.0	100.0
県単独事業 計	3,465,000	3,465,000	3,465,000	100.0	100.0
砂防費 (第4目) 計	8,852,000	8,935,000	10,848,580	99.1	81.6
一般公共					
農地地すべり	215,000	212,000	334,775	101.4	64.2
農地地すべり(災害関連分)	23,000	23,000	0	100.0	皆増
治山地すべり	188,000	185,000	291,815	101.6	64.4
治山地すべり(災害関連分)	65,000	65,000	0	100.0	皆増
農林地すべり一般公共事業 計	491,000	485,000	626,590	101.2	78.4
県単農地すべり	63,000	63,000	63,000	100.0	100.0
県単治山地すべり	74,000	74,000	74,000	100.0	100.0
生活環境整備事業 計	137,000	137,000	137,000	100.0	100.0
農林地すべり県単事業 計	137,000	137,000	137,000	100.0	100.0
農地地すべり	278,000	275,000	397,775	101.1	69.9
治山地すべり	262,000	259,000	365,815	101.2	71.6
災害関連分	88,000	88,000	0	100.0	皆増
◎農林地すべり対策費 (第5目) 計	628,000	622,000	763,590	101.0	82.2
★国直轄事業費負担金 (第6目) 計	2,540,000	2,540,000	4,088,847	100.0	62.1
合 計	12,022,453	12,099,453	15,798,439	99.4	76.1
合計から◎を除く	11,394,453	11,477,453	15,034,849	99.3	75.8
合計から★を除く	9,480,000	9,557,000	11,612,170	99.2	81.6

砂防関係事業費の推移



令和4年度国の新規制度・事業

国土交通省(砂防関係)は、令和4年度から新たに3つの新規制度、事業を創設しました。

1 林野庁との連携による流域流木対策の推進

土砂・洪水氾濫等に伴い発生する流木による被害拡大を防止するため、林野庁と連携して作成した流域流木対策計画に位置付けられた流木捕捉施設の新設等を補助対象に追加しました。

森林整備や治山ダムによる流木発生の抑制、透過型砂防堰堤や流木捕捉施設による流木の捕捉を、林野事業と砂防事業が連携して一体的に実施することで、流域全体で流木被害の防止・軽減を図ります。



流木発生ポテンシャル調査



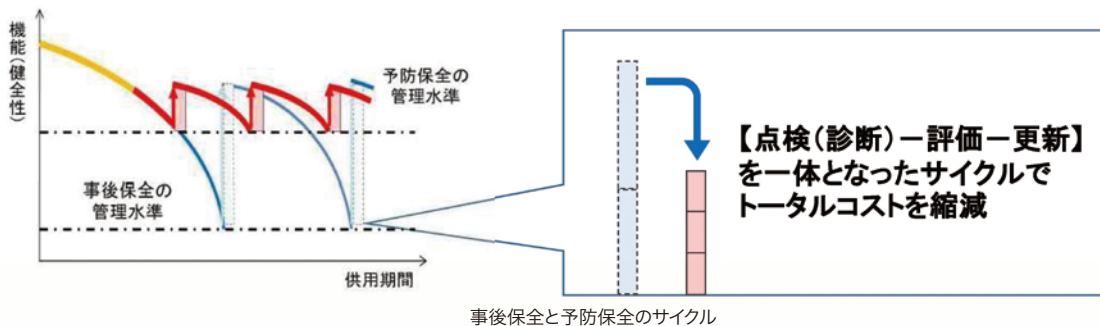
適正な森林管理の実施



流木捕捉効果の高い砂防堰堤の設置

2 老朽化対策に関する個別補助事業の創設

インフラ長寿命化計画において、予防保全によるLCC(ライフサイクルコスト)の縮減・平準化を図り、効率的かつ持続可能なメンテナンスサイクルを実現するため、修繕・更新等が必要な施設への対策を加速するとともに、新技術の積極的な活用等を推進します。個別補助制度「砂防メンテナンス事業費補助」を創設し、地方公共団体がより集中的かつ計画的に老朽化対策を進めることができるよう国が支援します。



3 盛土による災害防止対策の推進

令和3年7月に本県熱海市で大雨により発生した土石流災害を踏まえ、令和3年度に実施した盛土による災害防止のための総点検で、人家・公共施設等に被害を及ぼすおそれのある盛土について、安全性把握調査及び対策工事を推進します。防災・安全交付金事業のうち都市局関係事業を拡充し、「盛土緊急対策事業」を創設しました。砂防関係では、砂防指定地等を対象に、盛土の安全性把握調査や、盛土の撤去事業、盛土の崩落対策事業を国が支援します。



盛土総点検実施状況

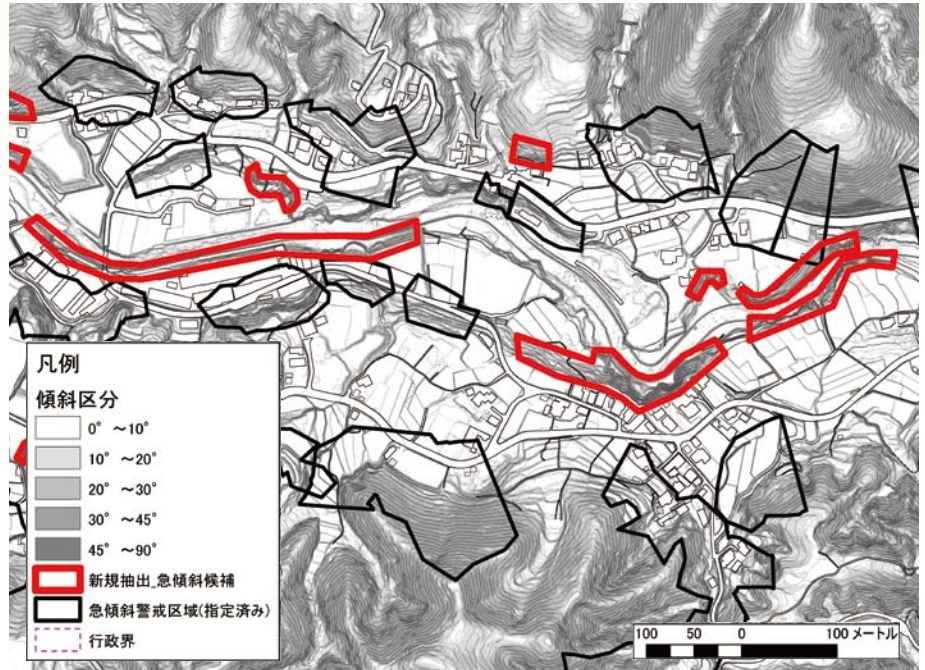
土砂災害防止法によるソフト対策の取組

1 3次元データを活用した基礎調査対象箇所の新規抽出について

県では、令和元年度までに県内すべての土砂災害危険箇所を対象とした基礎調査を完了し、土砂災害警戒区域の指定が必要な18,215箇所の指定を完了しました。

一方で、近年の全国的な災害事例では、図面の精度が低く、指定要件の有無が確認できず、土砂災害警戒区域の未指定箇所での被害が発生しています。

これを踏まえ、県では、令和3年度までに航空レーザ測量による3次元データを取得し、令和4年度以降、基礎調査の対象箇所を抽出し、土砂災害警戒区域の指定を進めていきます。



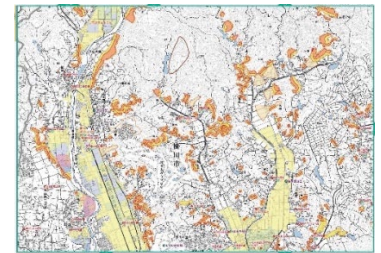
新規抽出イメージ図

2 警戒避難体制の整備(区域指定後の取組)

①ハザードマップの作成・周知

市町は、土砂災害警戒区域に指定した区域について、警戒避難体制に関する事項、要配慮者利用施設への情報伝達方法などを地域防災計画に定め、ハザードマップ等の印刷物を作成・配布しています。令和3年度末までに指定区域の92.2%にあたる16,798箇所のハザードマップの作成・配布が完了しています。(P8「あなたのまちの安全度」参照)

身の回りの危険な場所を確認しましょう。



ハザードマップの例

②土砂災害警戒区域の周知

県では、土砂災害警戒区域を住民の方々に広く周知し、県民の皆様の実効性のある避難行動に活用していただくため、区域に関する現地表示を進めています。

周知方法としては、令和2年度からは電柱広告の活用を、令和3年度からは広域(南北2km×東西3km)を表示する表示板の設置を開始し、令和4年度からは地区単位(南北600m×東西800m)を表示する標識の設置に取り組んでいます。



区域の現地表示の例(表示板)

③「土砂災害・全国防災訓練」の実施:令和4年6月5日(日)

「土砂災害・全国防災訓練」は、警戒避難体制の強化と防災意識の向上を図るために、土砂災害警戒区域等における住民参加による実践的な訓練として全国統一日を中心に実施しています。令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により、県内全30市町で、主に情報伝達訓練を行いました。

今年度も、感染症対策を考慮して危険な斜面の確認や土砂災害防止講習会等を実施する予定ですので、積極的な参加をお願いします。



災対本部との通信訓練(焼津市)

あなたのまちの安全度

県では、令和元年度末までに指定が完了した18,215箇所 of 土砂災害警戒区域等を対象に、土砂災害対策施設整備や地形改3次元データを活用した基礎調査の対象箇所の抽出を実施しています。

引き続き、土砂災害から県民の生命・財産を守るため、砂防堰堤・擁壁などの土砂災害防止施設の整備とともに、住民への土砂公表等)や土砂災害警戒情報の発表などのソフト対策を合わせた、総合的な土砂災害対策を進めていきます。

市町別土砂災害危険箇所数とソフト対策の実施状況

(令和4年3月31日 現在)

所管土木	市町名	土砂災害警戒区域指定状況				土砂災害特別警戒区域指定状況				警戒区域ハザードマップ
		土石流	地すべり	急傾斜地	計	土石流	地すべり	急傾斜地	計	
下田	下田市	256		346	602	183		328	511	599
	東伊豆町	31	6	67	104	19		66	85	77
	河津町	105	6	130	241	72		129	201	124
	南伊豆町	304	1	285	590	229		266	495	538
	松崎町	104	1	144	249	26		17	43	249
	西伊豆町	92	1	138	231	1		14	15	231
	小計	892	15	1,110	2,017	530		820	1,350	1,818
熱海	熱海市	105	1	195	301	59		194	253	301
	伊東市	107	2	259	368	72		256	328	368
	小計	212	3	454	669	131		450	581	669
沼津	沼津市	124		256	380	61		250	311	380
	三島市	22		97	119	15		90	105	117
	御殿場市	30		21	51	19		20	39	51
	裾野市	52		60	112	44		57	101	112
	伊豆市	579	11	590	1,180	355		583	938	870
	伊豆の国市	140	2	312	454	91		308	399	454
	函南町	37	1	105	143	27		105	132	143
	清水町	2		17	19			17	17	19
	長泉町	2		36	38	2		35	37	38
	小山町	47		78	125	11		72	83	125
	小計	1,035	14	1,572	2,621	625		1,537	2,162	2,309
富士	富士宮市	109	2	296	407	64		285	349	407
	富士市	53	2	174	229	32		155	187	229
	小計	162	4	470	636	96		440	536	636
静岡	静岡市	1,010	32	1,967	3,009	736		1,917	2,653	3,009
	小計	1,010	32	1,967	3,009	736		1,917	2,653	3,009
島田	島田市	234	42	540	816	148		527	675	798
	焼津市	29	1	60	90	17		57	74	90
	藤枝市	235	37	500	772	152		490	642	772
	牧之原市	41	5	420	466	24		419	443	466
	吉田町			12	12			11	11	12
	川根本町	55	10	195	260	34		193	227	259
	小計	594	95	1,727	2,416	375		1,697	2,072	2,397
袋井	磐田市	93		254	347	62		253	315	347
	掛川市	216	23	1,103	1,342	176		1,094	1,270	1,342
	袋井市	49		270	319	36		265	301	319
	御前崎市	16	1	351	368	14		349	363	368
	菊川市	83	4	610	697	71		604	675	697
	森町	79	18	431	528	55		422	477	528
小計	536	46	3,019	3,601	414		2,987	3,401	3,467	
浜松	浜松市	572	138	2,309	3,019	397		1,953	2,350	2,263
	湖西市	5		225	230	3		219	222	230
	小計	577	138	2,534	3,249	400		2,172	2,572	2,493
合計	5,018	347	12,853	18,218	3,307		12,020	15,327	16,798	

■警戒区域ハザードマップ:土砂災害防止法8条3項に定められた、市町村が作成するハザードマップ



静岡県の土砂災害情報は、
<https://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/sabouka/dosyasaigaijyouhoumap.html>
 でご覧になれます。

変に応じて区域を見直すとともに、航空レーザ測量により取得する
 災害(特別)警戒区域の周知(インターネットによる指定区域図の)

市町別ハード対策(土砂災害防止施設の整備)の実施状況

(令和4年3月31日 現在)

所管 土木	市町名	土石流			地すべり			急傾斜地			合 計		
		採択可能 渓流数	概 成 渓流数	整備率 (%)	採択可能 箇所数	概 成 箇所数	整備率 (%)	採択可能 箇所数	概 成 箇所数	整備率 (%)	採択可能 箇所数	概 成 箇所数	整備率 (%)
下田	下田市	94	17	18.1				164	33	20.1	258	50	19.4
	東伊豆町	16	8	50.0	6	1	16.7	38	8	21.1	60	17	28.3
	河津町	53	14	26.4	5	2	40.0	44	13	29.5	102	29	28.4
	南伊豆町	119	12	10.1	1	1	100.0	131	40	30.5	251	53	21.1
	松崎町	71	8	11.3	1	1	100.0	77	22	28.6	149	31	20.8
	西伊豆町	64	18	28.1	1			67	20	29.9	132	38	28.8
	小 計	417	77	18.5	14	5	35.7	521	136	26.1	952	218	22.9
熱海	熱海市	91	19	20.9	1			95	15	15.8	187	34	18.2
	伊東市	82	25	30.5	2	1	50.0	110	27	24.5	194	53	27.3
	小 計	173	44	25.4	3	1	33.3	205	42	20.5	381	87	22.8
沼津	沼津市	96	22	22.9				128	73	57.0	224	95	42.4
	三島市	15	2	13.3				39	17	43.6	54	19	35.2
	御殿場市	8	6	75.0				3			11	6	54.5
	裾野市	23	11	47.8				24	6	25.0	47	17	36.2
	伊豆市	328	62	18.9	8	1	12.5	148	46	31.1	484	109	22.5
	伊豆の国市	74	5	6.8	1			82	33	40.2	157	38	24.2
	函南町	14	4	28.6	1			32	7	21.9	47	11	23.4
	清水町	2	1	50.0				11	1	9.1	13	2	15.4
	長泉町	1						18	3	16.7	19	3	15.8
	小山町	35	10	28.6				37	22	59.5	72	32	44.4
	小 計	596	123	20.6	10	1	10.0	522	208	39.8	1,128	332	29.4
富士	富士宮市	66	20	30.3	1			81	25	30.9	148	45	30.4
	富士市	48	18	37.5	1	1	100.0	55	32	58.2	104	51	49.0
	小 計	114	38	33.3	2	1	50.0	136	57	41.9	252	96	38.1
静岡	静岡市	540	137	25.4	11	4	36.4	654	309	47.2	1,205	450	37.3
	小 計	540	137	25.4	11	4	36.4	654	309	47.2	1,205	450	37.3
島田	島田市	83	19	22.9	26	7	26.9	132	72	54.5	241	98	40.7
	焼津市	13	7	53.8	1	1	100.0	25	21	84.0	39	29	74.4
	藤枝市	69	29	42.0	27	9	33.3	117	66	56.4	213	104	48.8
	牧之原市	13	12	92.3	2	3	150.0	57	25	43.9	72	40	55.6
	吉田町							3	2	66.7	3	2	66.7
	川根本町	23	4	17.4				33	14	42.4	56	18	32.1
小 計	201	71	35.3	56	20	35.7	367	200	54.5	624	291	46.6	
袋井	磐田市	20	2	10.0				33	6	18.2	53	8	15.1
	掛川市	39	3	7.7	11	7	63.6	102	28	27.5	152	38	25.0
	袋井市	7						30	11	36.7	37	11	29.7
	御前崎市	1						33	18	54.5	34	18	52.9
	菊川市	9	2	22.2		1		84	35	41.7	93	38	40.9
	森町	23	7	30.4	5	2	40.0	26	4	15.4	54	13	24.1
小 計	99	14	14.1	16	10	62.5	308	102	33.1	423	126	29.8	
浜松	天竜区	128	51	39.8	66	25	37.9	306	89	29.1	500	165	33.0
	天竜区以外	43	11	25.6	5	4	80.0	281	67	23.8	329	82	24.9
	浜松市計	171	62	36.3	71	29	40.8	587	156	26.6	829	247	29.8
	湖西市							54	10	18.5	54	10	18.5
小 計	171	62	36.3	71	29	40.8	641	166	25.9	883	257	29.1	
合 計		2,311	566	24.5	183	71	38.8	3,354	1,220	36.4	5,848	1,857	31.8

■土石流危険渓流はH15公表による危険渓流I
 土石流危険渓流は直轄施行分含み

■地すべりは
 国土交通省所管のみ

■急傾斜地崩壊危険箇所は
 H15公表による危険箇所I

逢初川直轄砂防災害関連緊急事業の進捗について

令和3年7月に発生した熱海市逢初川の土石流災害について、国土交通省では二次災害を防止するための緊急的な砂防工事を実施しています。富士砂防事務所は、7月29日より進入路工事に着手し、昼夜問わず工事を進めてきました既設砂防堰堤に堆積した土砂の撤去が12月23日に完了、仮設ブロック堰堤の設置などとあわせて応急対策工事が完了し、下流への土石流被害の軽減を図りました。

令和4年3月23日には、新設砂防堰堤の工事に着手し、令和4年度末までの工事完了を目指します。



仮設ブロック堰堤の設置状況(富士砂防事務所提供)



既設砂防堰堤除石完了(富士砂防事務所提供)



新設砂防堰堤の施工箇所(4月6日撮影)

上田町地区特定利用斜面保全事業の完成について

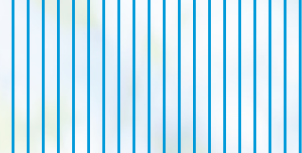
3月12日(土)に、上田町地区命山完成見学会が、湖西市新居町新居の上田町地区で開催されました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴うまん延防止等重点措置が県内に実施されていたため、見学会は、湖西市長をはじめ、県・市の関係者及び地元自治会の代表者などに限定し、感染症対策を行った上で規模を縮小して行われました。

この上田町地区命山は、特定利用斜面保全事業により、地山の斜面上部を切土して急傾斜地を解除するとともに、津波の避難場所として整備され、照明灯の整備等を含め、今年の2月に完成しました。また、切土により発生した土砂は、湖西市の住吉地区の命山や浜名港海岸命山等に活用され、上田町地区命山の整備によって一挙三得の安全安心を得られるものとなりました。



完成見学会の様子



令和3年度

「土砂災害に関する絵画・作文」優秀作品の表彰

令和3年度に、土砂災害防止月間の取組みの一環である「土砂災害防止に関する絵画・作文」を募集したところ、県内で123点の応募がありました。

今年度は、静岡市立城内中学校の中司杏実さんが絵画の部にて、国土交通事務次官賞に選ばれました。また、静岡県知事賞他5点の計7点が受賞しました。

3月23日(水)に県庁で行われた表彰式では、ご家族の方々が見守る中、静岡県交通基盤部長より、受賞者の皆さんに表彰状が授与されました。



受賞者と交通基盤部長、砂防課長の集合写真



国土交通事務次官賞を受賞した中司杏実さんの表彰風景

■栄えある受賞者のみなさん

(敬称略)

国土交通事務次官賞

中学生絵画部門

1年生 なかつか 中司 あみ 杏実 静岡市立城内中学校

静岡県知事賞

中学生作文部門

3年生 ひばやし 榎林 じゅり 樹里 静岡市立安東中学校

静岡県交通基盤部長賞

中学生作文部門

3年生 たしろ 田代 あやの 綾乃 富士市立岩松中学校

全国治水砂防協会静岡県支部長賞

小学生絵画部門

4年生 なかつか 中司 さへ 沙英 静岡市立伝馬町小学校

中学生作文部門

2年生 ささき 佐々木 こはる 瑚悠 磐田市立城山中学校

中学生絵画部門

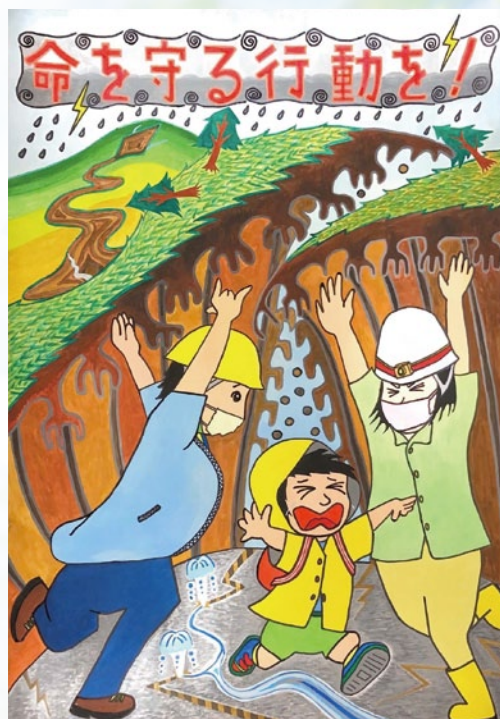
3年生 かち 加茂 こうき 昂樹 磐田市立磐田第一中学校

3年生 さいとう 齋藤 まいか 舞香 御殿場市立高根中学校

国土交通事務次官賞

静岡市立城内中学校1年

中司 杏実 さん



「熱海の土砂災害から学んだこと」 静岡市立安東中学校3年 檜林 樹里さん

「ねえ、この動画見て。」と母から見せられた動画には、大量の土砂が轟音を響かせて町に押し寄せ、次々と民家が泥の中に呑み込まれていく様子と、同じように土砂の勢いで倒された電柱がパチパチと火花を上げている様子が映っていました。最後に動画を撮影している女性の「ウソでしょ。」という声で動画は終了していました。

七月三日に静岡県熱海市で起きた土石流災害です。最初にこの動画を見たときはこれが現実で起こっていることとは思えず、映画のワンシーンを見ているような気持ちで見ました。

それから毎日のようにテレビでこの土石流災害のニュースが伝えられました。家ごと流され亡くなってしまった人、家のドアを開けた途端に土砂が部屋に入ってきて何とか逃げることが出来た人、仕事で職場に居るときに自宅が流されてしまった人など被害に遭ったときの状況は様々です。

土石流の発生した当日の熱海市は避難指示が出ていなかったそうです。そして今はコロナに感染してしまうかもしれない、という不安で避難所へ行くことも迷ってした人達も居たと聞きます。色々な不幸が重なって多くの人の命が失われてしまいました。

今年、土砂災害は日本の様々な地域で起きています。今まで、私の住んでいる所から遠く離れた場所で起こっていたのでどこか他人事のように思っていました。今回の熱海の災害は、同じ静岡県で起こった災害です。「もし自分の住んでいる地域でも同じことが起こったら」と考えるきっかけになりました。

私の住んでいる地区の周りは山々に囲まれています。私の家の裏は山です。土砂崩れを防ぐコンクリートの壁は作られています、「急傾斜地崩壊危険区域」と書かれた看板が付けられています。こうしてみると自宅の周りには、色々危険が潜んでいます。もし私たちの予想を超えた激しい雨が降り、土砂崩れで家が流されてしまったらどうしよう、命が助からなかったらどうしようと考えたらとても怖くなりました。

「でも、どうやって自分の命を守ったらいいんだろう。」

私はいくつか考えてみました。まず情報を知ることです。テレビでこれからの天気を知ること、スマホで天気の情報が見れるアプリを利用してみる。家族に聞いたら、市の防災メールに登録しているよ、と教えてくれました。自分で調べなくても警報を知らせてくれるのでとても便利そうです。でも今回の熱海市の災害では避難指示は出ていなかったの、そのようなときはどうしたらいいのかも考えました。それには近所の皆さんと日頃から連絡を取れるようにすることが大切です。要するに「共助」ができる状態にあることです。近くに住んでいる人達で避難すれば心強いし、我が家だけ逃げ遅れる、ということも無いと思います。そして避難先の場所は事前に調べておく、災害の時に必要な食料や生活必需品は、防災グッズの中に入れていつでも持ち出せるようにすることも、当たり前を感じるかもしれませんが、大切だと思いました。自然の力は私達が想像するよりもっと大きな力で襲ってくるかもしれません。でも事前に災害に備えた知識や準備をしておけば命を守れると私は感じました。

しかし、今回の熱海の土砂災害は天災だけではなく不幸があります。それは山林開発で人の手を加えたことが引き金となった災害でもあるということです。自分達の利益のために盛り土（外から運んできた土砂などを用いて傾斜地を平らに造成する建築工法）の工事を正しく行わなかったが故に多くの命が奪われるのは本当に許せない、悲しいことです。たとえ、工事が正しく行われていたとしても多くの樹木を伐採してもいいのでしょうか。小学生のとき、社会の授業で多くの木を切ってしまうと雨水の行き場がなくなり土砂崩れが起きやすくなると学びました。土砂崩れの危険性が高くなると分かっているながら何故木を伐採するのだろうか疑問もあります。自然を大きく変える山林開発は絶対にしてはならない、熱海の土砂災害はそれを教えてくれたと思います。

静岡県 交通基盤部長賞

「失ってしまう前に」 富士市立岩松中学校3年 田代 綾乃さん

七月三日、熱海市で土石流が発生した。土石流は木や家をまきこみながら、ものすごい速さで流れていた。私はテレビでその映像を見ていたが、「怖い」という言葉しか出てこなかった。まさか自分の住んでいる静岡でこんなことが起こるなんて思ってもみなかった。これまでも、梅雨の時期には毎年といっていいほど大雨の影響で起きた土砂災害のニュースがテレビで流れている。例えば、「令和二年七月豪雨」だ。浸水被害が多かったが、土砂災害でも十五人の方が亡くなっている。このような災害が起きるたび、胸が痛くなる一方で、心のどこかでは「自分には起こらない」と他人事に思っている自分もいた。しかし今回の熱海の土石流を見て私は考えを改めなければならないと痛感した。土砂災害はいつどこで起きてもおかしくない。また、いつどこで起きるか分からない。だから日頃からハザードマップを見て近所の危険な場所や避難所までの道のりを確認して、実際に歩いて、目で見て確かめることが必要だと思う。私は今まではハザードマップを見たことがなかったが、この機会に見てみると私の家は警戒区域には入っていなかったが少し離れたところは特別警戒区域、警戒区域に入っていた。決して他人事だと思わず自分にできることをいつか起こる災害のために備えておくことが大切だと実感させられた。そして私はふとこんなことを考えた。もし自分があの場所にいたらどうしただろう。流れる土砂を見ながら、何もできず固まってしまうのではないか。きっと今の私がある場所にいたらその通りになっていたのかもしれない。災害が発生してから避難所はどこだったか、どう行けば安全かを考えても遅い。また、冷静に判断することも難しい状況だろう。だからこそ、今のうちから、土砂災害が起こったらまず何をすればいいのかを考え、家族とも話し合うことで、自分の命、家族の命、そして誰かの命を守れるかもしれない。

私がこの出来事を通して一番記憶に残ったのは、行方不明者の

方を探す家族の姿だ。私はその姿をニュースで見た。高台から土砂に飲み込まれ変わりはた町の姿を見ながら、行方不明者の方との思い出を涙ながらに語っていた。大切な人を一瞬にして奪われ、どれだけつらく苦しい日々を過ごしているのだろうか。もし私がある立場だったら一分一秒でも早く見つけてほしいと願い、眠れない日々を過ごすだろう。そうなってしまってからでは遅いのだ、また、ニュースで何度も出てきた土砂災害の映像の端に土石流から逃げる消防隊員の姿が映っていた。始めは遠くにあった土石流が、次の瞬間にはもう隊員のすぐ後ろまで来ていた。そこで映像はとぎれていて、私はその隊員が無事なのか心配だった。何日かたって、その消防隊員たちがテレビのインタビューを受けていた。そこでこんなことを言っていた。「始めはゆっくり動いていたが、いきなりドカンと来て、ギリギリまで反応が出来なかった。」

土石流はものすごい速さで追いかけてくるため、全力で走っても逃げられるはずがない。ましてや、いきなりの出来事に驚き、体が動かなくなるだろう。災害に対してはきっと誰もが、自分の身に起こるまで他人事なのだろう。実際私もそうだった。しかし、それでは逃げおくれしてしまう。最悪の場合、大切な人、そして自分の命も失うかもしれない。そして、どれだけその時の自分の行動を責めても戻ることはいかない。そうならないためにも、日頃から命を守るための備えを自分でしっかりしておくことが大切だ。

自分の命は誰かに守ってもらうのではなく、自分が守ると強い意志をもつ。そして一人一人がピンチの中で自分の役割のために動くことができれば、誰かの大切な人を救えるかもしれない。これ以上、大切な人を失い悲しみにくれる人を減らせるように、そして自分の大切な人を失ってしまう前に、今の自分たちにできることを精いっぱいやっていきたい。

全国治水砂防協会 静岡県支部長賞

「繋げていくために」

磐田市立城山中学校2年 佐々木 瑚悠さん

最近起きてしまった、辛い災害があります。七月三日、熱海市伊豆山地区での、大規模な土砂流。その災害も、およそ百三十棟もの住宅が、まるで津波のような土砂にのみ込まれてしまうという、はるか大きなものとなってしまいました。私は、初めてその災害についてのニュースを見た時、こんなにも悲惨な事が、自分の居る県内で、身近に起こってしまったという事に驚き、同時に悲しみを覚えました。その時一緒に居た家族に、「ねえ、もし私達の家もこうなったら、どうするの。」と聞いてみると、「さあ。でもまあ、何とかなるでしょ。」という、曖昧な返事が返ってきました。でも、私も心の奥底ではそう思っていました。悲しい感情が表に浮かんでも、自分は大丈夫だろうと、どこか他人事のような気持ちを抱いてしまっていました。そのため、そんな返事にも、「ふーん。」としか返す事が出来ませんでした。そんな時、授業で作文の課題が出され、「土砂災害」という文字に目が留まりました。熱海市のニュースを見てから少し興味を持っていた私は、土砂災害について調べることにしました。ですが、少し調べただけで次々と出てくる悲痛な内容の記事に、私は思わず目が離せなくなりました。ニュースでは、死者が多く出てしまい、行方不明者の捜索が続けられているという内容を見ましたが、それ以外に、自分の知っていた物とはまた違う辛い思いを味わっている人々が、被害にあっている人がいた事を知りました。その中には、流れ込んできた泥や瓦礫によって、仕事場の漁港に立ち入れず、無収入になってしまった人、ペットと一緒に避難できずに、大切な家族を見失う事になってしまった人など、そんな被災者の人々の悲しみが、記事からも溢れてくるようでした。その瞬間、こんなにも困っている人がいるのに、少しでも自分は大丈夫だろう、と軽い考えを持っていただけでなく、とても恥ずかしいと思いました。多くの人々が亡くなってしまっただけでなく、自分の大切な人、普通の暮らし、町や家など、一瞬にして全てを奪っていった土砂災害は、以前の私が知っていたものより残酷でした。特に、私も自分の家族が離れている

所で亡くなっていたら、もし避難する時に自分もペットを残していく事になったら、と考えると、もう他人事だ、関係ないという思いを持つ事は出来ませんでした。そのために、何か出来る対策は無いのかと思い、土砂災害の防災について調べてみました。そこで、自分の周り、学校や公園の近くにも、土砂災害警戒区域があった事、土砂崩れなどは、大雨や地震など、簡単には防げないような原因によって起こってしまう事が分かりました。それによって、土砂災害は気を付ければ防げる、というのでは無いことを知る事ができました。これまで土砂災害の知識がほぼ無かった私は、土砂災害は特に大雨の時の雨量などに注意して過ごしたり、警戒レベルによって避難を始めるべきだったことを、ようやく知ることが出来ました。こうしてみると、やはり自然災害は自分の力で何とかできるものではないからこそ、それについての知識や意識の強さが大切だとあらためて思われました。そこで、調べている中で見かけた、熱海市のボランティアについて思いだしました。そのボランティアは、全国から人が集まって来て行えるようなものではなく、熱海市に住んでいる人々が行っていたものでした。それを知って驚愕しました。それも、二次災害の危険があって、今はそれしか出来ないから、と地域の人が協力して行動していたのです。ですが、もう一つ「募金活動」も行われていました。募金なら、離れていても、被災者の人々の生活再建に貢献することが出来ます。今も、日本各地で募金をする取組がされていると思います。

私が今回色々知って思ったことは、人と人の助け合いが、大きな力になって、土砂災害や、他の自然災害の時にも、前を向いていけるんだということです。そのためには、一人一人の災害に対する防災などの意識も、一つの大切な力だと思いました。勿論、災害によって失われ、戻ってこなくなってしまう命がある事は悲しむべき事であり、受け入れなければいけないことでもあります。そこから未来へ繋げていくのは、ボランティアや募金といった、全員が支え合おうとする心を持って行動する事、正しい知識を知る事であり、それが進んでいくための道になるんだと思います。私自身も、これからの悲しい事、辛い事、一つ一つの出来事をしっかり受けとめ、自分の糧として、助け合う人達の一人となるように、生きていきたいと思います。

全国治水砂防協会 静岡県支部長賞

静岡市立伝馬町小学校4年

中司 沙英さん

磐田市立磐田第一中学校3年

加茂 昂樹さん

御殿場市立高根中学校3年

齋藤 舞香さん



令和3年度 交通基盤部広報グランプリ表彰式が開催される

1月19日(水)に、県庁で令和3年度交通基盤部広報グランプリ表彰式が開催されました。砂防課は、7月に発生した逢初川土石流災害における委員会等の情報公開に関する取組が「逢初川土石流の情報提供について」という題名で優秀賞を受賞しました。

砂防課では、発災直後に応急対策等を検討する委員会を開催し、速やかに開催状況の「Youtube」配信や議事録の公開を砂防課HPに掲載し、不安を感じている多くの県民に向け、情報発信を行いました。

審査員の広報アドバイザーからは「機にして敏。有事における迅速な対応は、普段からの問題意識があればこそ成し得た結果であろう。本取組により、報道機関や県民に対してスムーズな情報提供が可能となり、隣接する他の業務の圧迫を軽減できたことは容易に想像できる。この取り組み全体を広い意味での広報と捉えたい。」とのコメントをいただきました。



記念撮影の様子

第26回静岡県砂防ボランティア協会総会及び研修会を书面開催

1月27日(木)に開催予定であった、「令和3年度(第26回)静岡県砂防ボランティア協会総会及び研修会」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、书面開催に変更しました。

総会では、会員の土砂災害・全国防災訓練及び急傾斜パトロール等の参加の活動報告並びに砂防ボランティア活動等功労者表彰、令和4年度の活動予定の確認、新規会員の紹介、役員改選を行いました。次期役員については、令和4年度から会長八木正道氏、副会長北沢隆夫氏が務めることとなりました。

また、表彰関係では、令和2年度赤木顕功賞として、当協会から本橋和志氏、令和3年度砂防ボランティア活動等功労者として、当協会から山崎省一氏が表彰されたことを報告しました。

第4回富士山火山広域避難計画検討委員会が開催される

2月3日(木)に、火山専門家や国、静岡・山梨・神奈川県、市町村等の90を超える関係機関で構成される「富士山火山防災対策協議会」の作業部会として、第4回富士山火山広域避難計画検討委員会が、5名の委員と追加された5名の臨時委員により、Web会議形式で開催されました。

今回は、令和3年度の協議会における中間報告書について、その説明資料の内容について議論され、来年度も引き続き議論をしていくこととなりました。



会議の様子(Web会議)

第4回伊豆東部火山群火山噴火緊急減災対策砂防計画推進連絡会議を開催

2月16日(水)に、「第4回伊豆東部火山群火山噴火緊急減災対策砂防計画推進連絡会議」をWeb会議形式で開催しました。

この会議は、平成30年度に策定した伊豆東部火山群緊急減災対策砂防計画に基づく各種取組を推進するため、国、県、市の関係機関が集まり、調整や情報共有を図るものです。第4回の会議では、砂防計画に関する各機関の取組の進捗状況及び課題を情報共有しました。今後も定期的に会議を開催し、取組を推進していきます。

第12回富士山火山防災対策協議会が開催される

3月30日(水)に、火山専門家や国、静岡・山梨・神奈川県、市町村等の90を超える関係機関で構成される「第12回富士山火山防災対策協議会」が、Web会議形式で開催されました。

今回は、令和3年度の協議会における事業報告や令和4年度の事業計画(案)のほか、平成30年度より検討していた富士山ハザードマップ改定に関する最終報告について説明があり、いずれも了承されました。



会議の様子(Web会議)

静岡市は、静岡県の中部に位置し、北は南アルプスから南は駿河湾まで、南北に長い地形を有しています。世界遺産の富士山や三保の松原を望む日本平、東海道五十三次にも描かれており富士山と駿河湾が一望できる薩埵峠などの景勝地が多く存在します。



歌川広重「東海道五拾三次之内 由井 薩埵嶺」
保永堂版 静岡市東海道広重美術館蔵



現在の薩埵峠

また、古くから今川氏や徳川家康公の城下町として発展を続けてきました。登呂遺跡、久能山東照宮などの歴史的遺跡・建造物も多く、令和5年には歴史博物館の開館も予定されています。令和3年8月には中部横断自動車道の静岡-山梨間が全線開通しました。この道筋は、古くは「駿州往還」と呼ばれ、戦国時代には軍事、物流で重要な役割を果たし、江戸時代には身延詣の人々で賑わった街道ですが、同自動車道の開通により、高速ネットワークが形成され観光交流の拡大や甲信地方からの農産品等を国際拠点港湾清水港から海外へ輸出が可能になるなど、経済の活性化が期待されています。



中部横断自動車道全線開通(静岡-山梨間)

静岡市の砂防については、山地や丘陵地が多く存在することから、市内に3009箇所土砂災害警戒区域が指定されており、市民の皆様へ危険な箇所の周知や避難の注意喚起を行っています。また、薩埵峠のある由比地区では、海岸線に国道1号、東名高速道路、JR東海道本線という重要な交通網が集中していますが、豪雨や地震による地すべりの発生が懸念されており、国による地すべり対策事業を進めています。

市民の皆様のお安全安心な暮らしを守るよう、引き続き国・県と連携して事業を推進していきます。

市民の皆様のお安全安心な暮らしを守るよう、引き続き国・県と連携して事業を推進していきます。

歴史探訪

県内初の集水井工

地すべりは、地下水位の上昇等によって発生する土砂災害です。地すべり対策で地下水位を下げる工法の1つとして集水井工があります。集水井工は昭和30年に日本で初めて新潟県刈羽郡高柳町(現柏崎市)の栃ヶ原地すべりで建設されました。その後技術の進歩等により、昭和40年頃から全国に普及していきました。

静岡県における集水井工は、昭和43年に浜松市天竜区春野町や佐久間町で建設されたのがはじまりです。

山路地すべり防止区域に設置した集水井では、天蓋や井筒のライナープレートの一部取換えを実施しているものの、現在でも排水機能を維持し、地すべりの抑制効果を発揮しています。

県内における初期の集水井工の一覧

区域名	位置	所管	施工年度	規格
山路	浜松市天竜区 春野町豊岡	国土交通省	昭和43年	φ=3.5m D=15.0m
大萩	浜松市天竜区 佐久間町上平山	農林水産省 林野庁	昭和43年	φ=3.5m D=10.0m
砂川	浜松市天竜区 春野町砂川	農林水産省 林野庁	昭和43年	φ=3.5m D=10.0m
鎌塚	島田市湯日	農林水産省 農村振興局	昭和44年	φ=3.5m D=8.0m
切山	島田市切山	農林水産省 農村振興局	昭和44年	φ=3.5m D=10.0m φ=3.5m D=6.0m

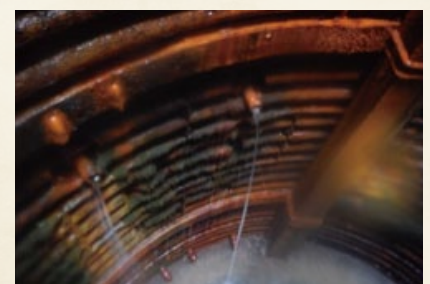
【山路地すべりの集水井の状況】



集水井全景



集水井内部(径3.5m、深さ15m)



集水井内部(集水状況)

募集・お知らせコーナー

土砂災害防止に関する絵画・作文の募集

今年度も土砂災害の恐ろしさや土砂災害防止の重要性を伝えるため、絵画・作文を募集します。募集要項については、各小・中学校へ送付しますが、下記でもご覧いただけます。

- 【募集対象】 小・中学生 【応募期間】 6月1日(水)～9月15日(木)
 【応募方法】 作品には応募者の学校名(ふりがな)、学年、氏名(ふりがな)を明記してください。
 【応募先】 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号
 静岡県交通基盤部砂防課 砂防班
 TEL.(054)221-3044 FAX.(054)221-3564

詳細は、砂防課ホームページからでもご覧いただけます。
<http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>



出前講座・土砂災害防止講習会の開催募集

土砂災害に関する出前講座・講習会を開催しませんか? 県の砂防課や土木事務所の職員が講師として説明に伺います。お気軽にお問合せください。

- 【出前講座の対象】 小学生～高校生
 【講習会の対象】 どなたでも
 【開催日時】 相談ください

問合せ 静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課
 TEL(054)221-3044
 E-mail sabo@pref.shizuoka.lg.jp



土木事務所企画班砂防担当者の紹介

県砂防課では、出前講座および講習会を随時受付しております。

事務所	企画TEL・FAX	担当者
下田土木	TEL:(0558)24-2113 FAX:(0558)24-2123	土屋勇太
熱海土木	TEL:(0557)82-9172 FAX:(0557)82-9110	北島 修 本橋央行
沼津土木	TEL:(055)920-2212 FAX:(055)922-6684	村井達郎 中川裕登
富士土木	TEL:(0545)65-2794 FAX:(0545)65-2270	吉田耕介

事務所	企画TEL・FAX	担当者
静岡土木	TEL:(054)286-9322 FAX:(054)286-9375	廣瀬敏雅 内山翔太
島田土木	TEL:(0547)37-5272 FAX:(0547)37-6183	福山裕也
袋井土木	TEL:(0538)42-3216 FAX:(0538)42-1782	大石理智
浜松土木	TEL:(053)458-7266 FAX:(053)458-7193	貝沼征嗣 杉山実子



【表紙写真】
御殿場からの富士山
 (撮影地:御殿場市)
 写真提供:静岡県観光協会
 ※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

編集・後記

この度3月いっぱいをおもちまして、退職することとなりました。協会の活動に従事させていただくなかで、沢山の方々にお会いでき、貴重な経験をさせていただきました。携わってくださった皆様に御尽力いただき、本当に感謝しております。これからもどうぞ、砂防協会をよろしく願っています。

砂防協会事務員

砂防だよりは砂防課ホームページでご覧いただけます。 <https://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>